

# 経営情報学連続講座



## 情報学で何ができるの？

「情報」はこれからの社会生活において、水、電気、ガスなどの生活インフラについて重要な社会インフラの一つであると同時に、さまざまなビジネスを支える産業インフラでもあります。本講座では、情報学における研究成果が活用されるさまざまな分野を取り上げ、情報学がどのように活用されているのかをやさしく、わかりやすく解説します。

### 会場

県立広島大学 広島キャンパス  
(広島市南区宇品東1-1-71)  
研究教育棟Ⅰ 1階 1175講義室

### 日時 および 内容

右表参照(詳細は裏面をご覧ください)

### 募集人数

40名

### 対象

高校生以上の一般の方

### 受講料

無料

### [備考]

7回すべての講座を受ける必要はありません。ご興味のある回のみ申込・受講していただいてもかまいません。

回	日時	テーマ	講師
1	10月3日(月) 18:00~19:30	ICT(情報技術)に支えられる最新の「ものづくり」	経営情報学科 准教授 竹本 康彦
2	10月5日(水) 16:30~18:00	LEGOで学ぶ作業改善	経営情報学科 准教授 広谷 大助
3	10月7日(金) 18:00~19:30	モデルベース制御の考え方	経営情報学科 准教授 重丸 伸二
4	10月14日(金) 18:00~19:30	自律型無線ネットワークによる被災情報収集手法のありかた	経営情報学科 准教授 重安 哲也
5	10月17日(月) 18:00~19:30	インターネットは崩壊するのか	経営情報学科 教授 陳 春祥
6	10月19日(水) 16:30~18:00	体験的に学ぶ情報セキュリティマネジメントの考え方	経営情報学科 准教授 佐々木 宣介
7	10月21日(金) 18:00~19:30	位置情報を活用したデータ分析	経営情報学科 准教授 富田 哲治

### 申込方法

(ウェブページでの申込の場合) 参加希望回の一週間前の17:00までに以下のウェブページにアクセスして、ウェブページ内の質問事項(お名前、メールアドレス、受講回等)に回答して下さい。

申込ページ: [https://cloud.pu-hiroshima.ac.jp/h28keijyo\\_Koukaikouza](https://cloud.pu-hiroshima.ac.jp/h28keijyo_Koukaikouza)

(往復はがきによる申込の場合) 往信面の裏に、①郵便番号、②住所、③名前(ふりがな)、④電話番号、⑤受講される講座回を、返信面の表に受講される方の郵便番号、住所、名前(〇〇〇〇様)をご記入の上、平成28年9月26日(月)(当日消印有効)までに下の申込先にお送りください。

注意: 申込多数の場合は抽選となります。受講の可否は申込締切日以降に申込メールへの返信あるいは返信はがきでお知らせします。

\*申込の際にお寄せいただいた個人情報は県立広島大学公開講座のご案内以外の目的には使用しません。

申込・問合せ先: 〒734-8558 広島市南区宇品東 1-1-71  
県立広島大学地域連携センター「経営情報学連続講座」係  
電話 (082) 251-9534 (平日 9:00~18:00)



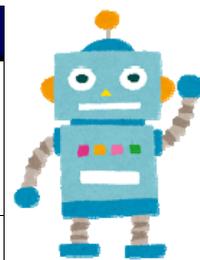
## ★★★講座の内容★★★

### [1] 10月3日 ICT（情報技術）に支えられる最新の「ものづくり」

竹本 康彦

「もの」を作る機械がネットワークでつながれた工場内において、おなじく「もの」を作る機械に取り付けられたセンサからさまざまな情報が収集され作業工程がリアルタイムに制御される、そんな新たな「ものづくり」の姿が構想されています。本講座では、ICT（情報技術）に基づく最新の「ものづくり」の現場について調査した内容を紹介します。

キーワード IoT, インダストリー4.0, インダストリアル・インターネット, ビッグデータ



### [2] 10月5日 LEGOで学ぶ作業改善

広谷 大助

何気ない作業にも実はムダが多く効率的に行われていないことが多く存在します。本講義では、作業改善技術であるインダストリアルエンジニアリングについて、実際にLEGOを組み立ててもらい、現状の組み立て案に対する作業改善を行うことによって概念を分かりやすく説明します。

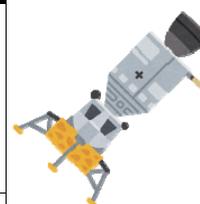
キーワード インダストリアルエンジニアリング, 経営工学, 動作経済の原則, 作業研究

### [3] 10月7日 モデルベース制御の考え方

重丸 伸二

人の手を介さずに制御対象を操作する自動制御では、制御対象の状態をセンサにより把握してその情報に基づいて適切な操作を決定します。たとえばエアコン等は室内の温度を温度計により検出して、速やかに設定温度になるように出力を調節しています。このとき、時々刻々と変化する状態に対して、どのように出力を決めればよいか問題となります。本講義では制御対象をモデルとしてとらえて制御方法を設計する基本的な考え方について分かりやすく説明します。

キーワード 動的システム, フィードバック制御, 安定性, 外乱



### [4] 10月14日 自律型無線ネットワークによる被災情報収集手法のありかた

重安 哲也

日本では、地震、台風をはじめとする様々な自然災害が多く発生しています。それらの自然災害が発生した場合には、災害の被害を極力小さく抑えるために、被災情報を把握した正確な救援活動が必要となります。本講義では、スマートフォンなどのWi-Fiによるすれ違い通信の活用で被災情報を収集するシステムについて紹介します。

キーワード 被災情報収集, すれ違い通信, Wi-Fi, スマートフォン



### [5] 10月17日 インターネットは崩壊するのか

陳 春祥

ビッグデータなどの情報が爆発的に増加し、通信回線の容量を超え、クラウドの加速により、データセンターの消費電力が急増しています。さらにコンピュータウイルスや不正アクセスなどの様々な問題で、インターネットはいずれ崩壊すると囁いていますが、それが本当ですか。本講座では、インターネットに関する既知の諸問題を取り上げ、それに対する技術を紹介し、インターネットの将来について一緒に考えてみます。

キーワード IoT, loE, 不正アクセス, ファイアウォール, クラウド



### [6] 10月19日 体験的に学ぶ情報セキュリティマネジメントの考え方

佐々木宣介

会社のような組織全体で情報セキュリティ対策を行うときには、「情報セキュリティマネジメント」という考え方を使います。この情報セキュリティマネジメントの基本的な内容について、簡単なゲームを通して体験的に学ぶ講座です。組織の情報セキュリティ管理者になったつもりで気軽にゲームに参加してください。

キーワード リスクマネジメント, ビジネスゲーム, リスク分析とリスク対応, 費用対効果

### [7] 10月21日 位置情報を活用したデータ分析

富田 哲治

情報技術等の発展により位置情報のついたデータが得られるようになってきました。位置情報を活用することで、新しい視点でデータを分析する方法を開発することができます。ここでは、位置情報を活用したデータ分析法として、位置によって変化する関係を定量的に推定して、地図によって可視化する分析法について紹介します。

キーワード 空間データ, 地図データ, 可視化, 回帰分析, 空間変化係数

